

愛媛県美術館 第9期作品ガイドボランティア 募集要項

**「対話型鑑賞」のナビゲーター（進行役）を担う、
第9期作品ガイドボランティアを募集します。**



企画展トークの様子※



スクールトーク(館外)の様子※

※現在はコロナ対策のため、企画展トークは展示室ではなく、研修室にて行っています。また各トークとも、マスク等、感染対策を十分に行って、実施しています。

愛媛県美術館では対話型鑑賞の進行役を務める作品ガイドボランティアの養成を平成17年度より始め、現在30名の仲間とともに活動を続けています。この度、コロナ禍によりしばらくお休みしていた第9期の作品ガイドボランティア募集を再開いたします。私たちと、鑑賞者といっしょに、「みる」ことを楽しんでいきませんか？

《対話型鑑賞とは》

1980年代にニューヨーク近代美術館で開発された鑑賞プログラムを源流とする、日本での鑑賞教育の呼称です。

対話型鑑賞は参加者全員の「力」を使って、ひとつの作品を読み解いていきます。お互いの発言を共有しつつ、鑑賞を深めていく中で、ひとりでは気づかなかった多様な見方に気づきます。更に、観察力・洞察力・想像力・傾聴力、発言力・語彙力など様々な力が培われるため、現在、美術館だけでなく学校教育や、ビジネスパーソン対象の研修等でも実践・研究が広がっています。

●作品ガイドボランティアの活動内容

コレクション展・企画展や出前授業等において、一般の鑑賞者や学校団体の児童・生徒を対象に対話型鑑賞の考え方に基づいた鑑賞プログラムを実施します。

●募集人員 5名

●応募条件

1. 作品ガイドボランティアとして、愛媛県美術館の対話型鑑賞の活動に、積極的に参加する意欲のある方

2. 令和4年6月上旬から令和5年2月にかけて行われる全10回の研修※(鑑賞トレーニング・ナビゲイタートレーニング、美術館についての基礎知識講座等)に参加できる方。研修は毎月1回程度、日曜日が中心になります。原則全ての研修を受講ください。なお、所定の研修を受講し、研修最終日に行われる模擬トークに合格された場合に、ボランティアの登録ができます。

※《研修日程》時間帯は毎回10:00~12:00です。

6月19日(日)・7月24日(日)・8月21日(日)・9月18日(日)・10月16日(日)・11月13日(日)・12月25日(日)・1月29日(日)・2月5日(日)・2月12日(日)

★欠席は最大2回まで。無断欠席は認めません。遅刻は2回で欠席1回とみなします。

3. 令和5年4月以降、毎月、水・金・日曜日を中心に14時~15時に開催される、コレクション・トーク(愛媛県美術館の所蔵品を使った対話型鑑賞プログラム)、コレクション・トークプラス(みえる人もみえない人も一緒に所蔵品を楽しむ鑑賞プログラム)企画展・トーク(企画展での対話型鑑賞プログラム)、スクール・トーク(学校団体対象の対話型鑑賞プログラム)ほか、夏休み等の鑑賞プログラム対応、展示替え時の学習会やトークの練習会等に参加可能な方。

4. 年齢満18歳以上(令和4年4月1日の時点)の方

●活動期限 1年間(更新可)

●ボランティア登録後の待遇

交通費・昼食代等の支給はありません。ボランティア保険有。

ボランティア活動・研修を目的とした展示室の入室が、本人のみできます。

●応募方法

作品ガイドボランティアについての説明会(対話型鑑賞によるコレクション・トークがあります)に参加後、会場にて配布される応募用紙に必要事項を記入の上、「対話型鑑賞に参加しての感想文1,200字程度、PC可」と返信用封筒(84円切手を貼付し、住所氏名を記入)を添えて**令和4年5月15日(日・必着)までに**、愛媛県美術館作品ガイドボランティア係へ持参または郵送してください。

●説明会 参加ご希望の方は①・②のうち、いずれか都合の良い日を選んでご参加ください。

① 4月24日(日)13:30~15:00(新館2階研修室)

② 5月8日(日)13:30~15:00(新館2階研修室)

●選考

提出書類により選考し、研修受講者を決定します。**5月下旬に選考結果を通知します。**

問合せ先:愛媛県美術館作品ガイドボランティア担当 鈴木・田代・金成^{かなり}
〒790-0007 松山市堀之内 愛媛県美術館
tel.089-932-0010 / fax.089-932-0511